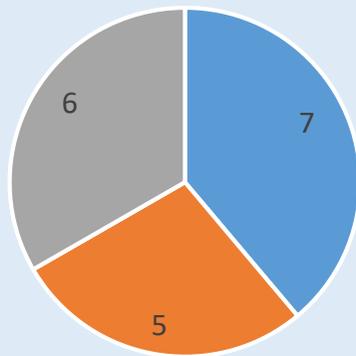


# 地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答

東京都保健医療局医療政策部

# 事前アンケートの主な意見（区西部）

## 地域医療連携システムの導入状況



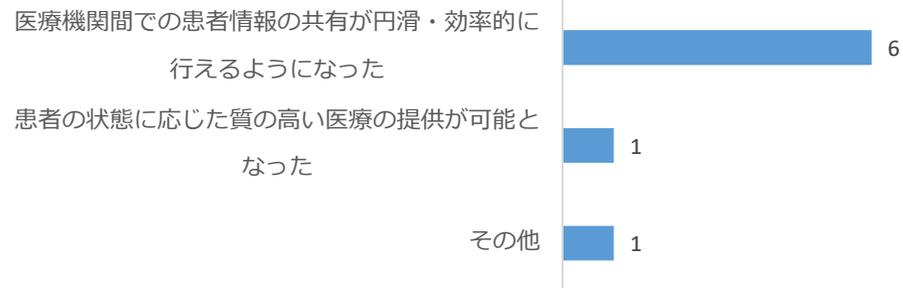
- 地域医療連携に関するシステムを導入している。
- 地域医療連携に関するシステムを今後導入する予定がある。
- 導入予定なし

## 病院としての主な機能別の導入状況

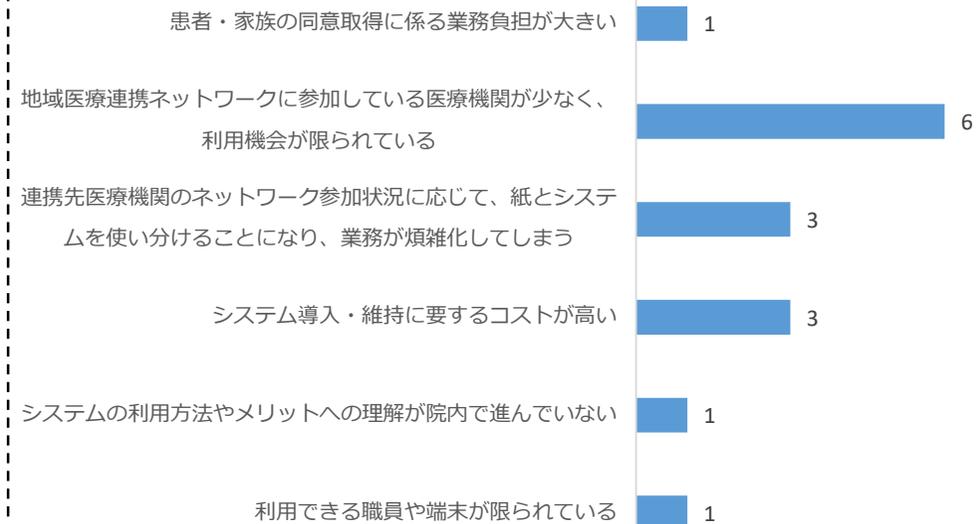
病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	3	2
急性期/サブアキュート	6	2
回復期/ポストアキュート	0	0
慢性期	3	1
ケアミックス（急性期・回復期）	4	1
ケアミックス（回復期・慢性期）	1	1
その他	1	0
計	18	7

## ■ 導入済みの病院の回答

### システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



### 導入や運用面での課題（複数回答可）



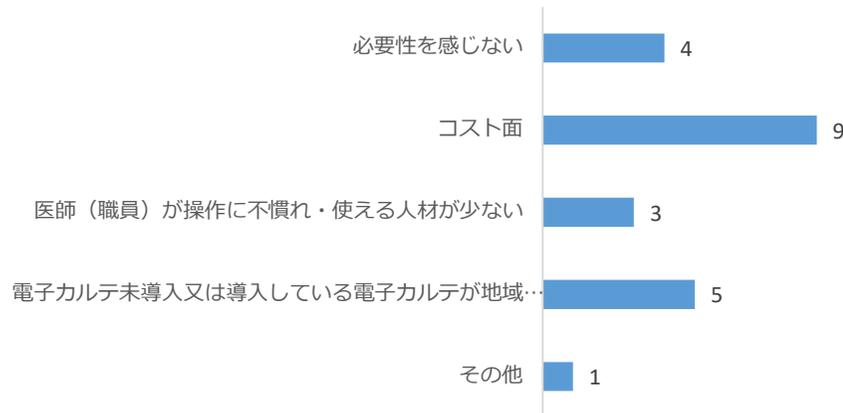
# 事前アンケートの主な意見（区西部）

## ■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

### 医療連携の際にどのような手段を用いているか

- ・ 診療情報提供書のFAX送付
- ・ 電話、郵便、メール、LINE
- ・ 一部の登録病院とはらくらく入退院支援システム【わんコネ】を利用
- ・ 定期訪問等による情報交換
- ・ 後方連携医療機関のベッド状況などを、面会や電話等で確認し常に情報を更新

### 導入していない理由（複数回答可）



### その他

- ・ 現時点での必要性は低く、クリニック側からの機器操作に関する質問等に対応する部署が必要となる（医療連携室だけでは対応不能と思われる）

### どのような点が改善されれば導入するか

- ・ 公費負担と都のイニシアチブと調整による統一した連携システムの構築
- ・ システムに参加する医療機関が増えてくれば、導入を検討したい
- ・ システム導入への金銭的な補助・診療報酬上の加算など
- ・ クリニックの先生が操作しやすいように、共通システムが好ましい。
- ・ 病院全体で使用が出来る、尚且つ使用方法が簡素なもの
- ・ 導入、維持費用を上回るメリット（仕組み）
- ・ 患者登録で個別同意→包括同意等、現実的なルール改定が必要
- ・ セキュリティ対策構築や維持だけでなく、施設間で運用するID等名寄せ作業も含め民間病院での対応はかなりハードルが高い（コスト、マンパワー）

## ■ DXを活用した地域医療連携の理想的な姿

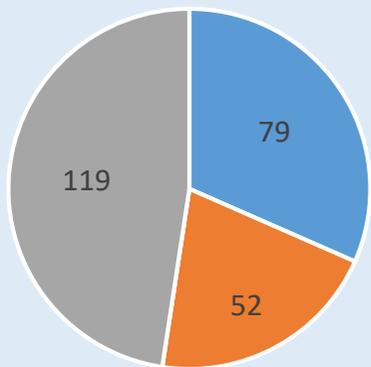
- ・ 患者自身のマイナカードなどに既往、処方内容、最新採血データなど必要最低限の情報が保存されており、どの医療機関でも患者同意あれば取得できる全国共通のシステムの導入。あるいはクラウド上に患者データ保存してあり、そこにアクセスして取得するなど。
- ・ 医療機関の役割区分けの明確化、及びそれをオープン情報にする。連携は病床稼働を意識できるマッチング。患者医療情報のIT上での共有。様々な紙運用の廃止。
- ・ 連携する各保険医療施設間において標準化された電子カルテが導入され、セキュリティの高いICTネットワークシステムに保存された患者さんの診療録記事、患者プロフィール(既往歴・家族歴・生活習慣・身体所見・予防接種歴)処方、検査データ、画像診断を連携施設で情報共有することができれば理想的。さらには閲覧だけでなくそのシステムを共通カルテとして運用できれば無駄なく運用できることになると思う。
- ・ あらゆる病院との連携がシステム上で行え、かつネット上で患者情報の共有を行いながら紹介逆紹介対応が行える
- ・ 迅速な対応（自院で治療が困難な場合、当日の転院）が医療DXを活用し可能となる。
- ・ 個々の承諾を得ずとも医療情報が共有できる

## ■ 地域医療構想に関する意見

- ・ 下流側の医療機関としては、転院先でのゴール目標(リハビリの目標、在宅療養など)を明確に提示していただくと受入れはよりスムーズになる。
- ・ 異なるベンダー間での連結障壁があり、東京総合医療ネットワークもなかなか都内全域への広がりがみられていない様子。このシステムを使用することでの診療上のメリットが感じられていないのかと思う。せめて画像データの相互参照化が容易にできれば、緊急時診療には有益である。
- ・ 昔から言われているように『顔の見える連携』が重要。連携講演会や病診合同の会合等でコンタクトを密にすることは、今後も意義のある重要なマター。
- ・ 当院のような終末期医療を提供している療養型としての連携の在り方について他の療養型の取り組み等あれば知りたい。
- ・ 是非行政で統括を進めていただきたい。
- ・ 個人情報の取り扱いについて、地域医療機関は外部医療機関とのネットワーク連携に慎重なため、医療のDX化には時間がかかると感じた。

# 事前アンケートの主な意見（都全域）

## 地域医療連携システムの導入状況



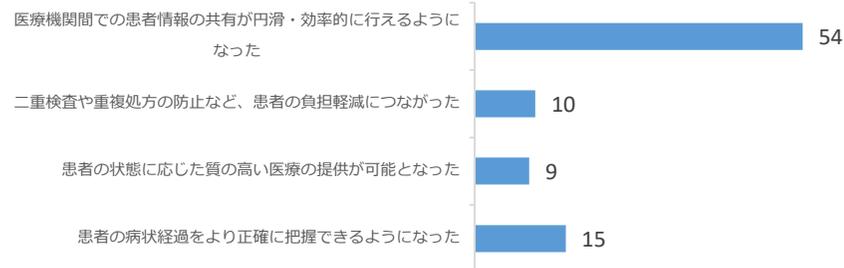
- 地域医療連携に関するシステムを導入している。
- 地域医療連携に関するシステムを今後導入する予定がある。
- 導入予定なし

## 病院としての主な機能別の導入状況

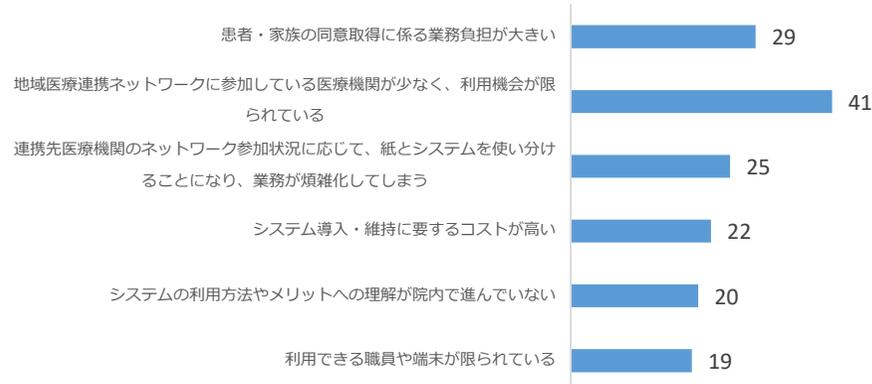
病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	36	18
急性期/サブアキュート	79	27
回復期/ポストアキュート	15	4
慢性期	34	6
ケアミックス（急性期・回復期）	33	13
ケアミックス（回復期・慢性期）	18	6
その他	35	5
計	250	79

## ■ 導入済みの病院の回答

### システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



### 導入や運用面での課題（複数回答可）



## ■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

### 導入していない理由（複数回答可）

